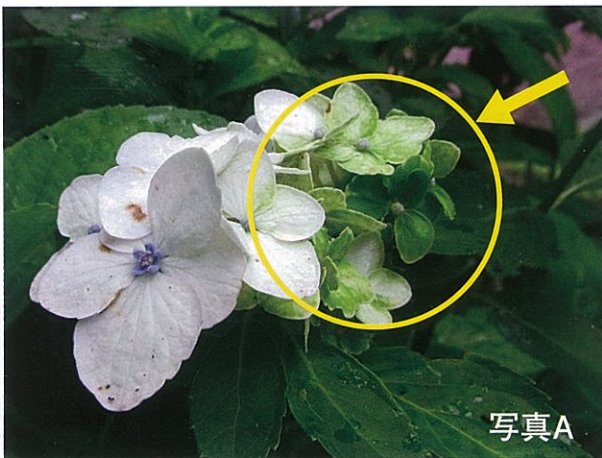




■アジサイ葉化病の見分け方

葉化病に感染したアジサイのガクは、黄緑色から**光沢のある濃い緑色に変化し、厚みが増します**。発病の初期には、正常な花のなかにモザイク状に緑色の部分が入ることもあります（写真A参照）。

健康なアジサイも、花の時期が終わりに近づくと、ガクの部分が薄い緑色になりますが、ガクの大きさや厚さなどに異常がない場合は、正常な変化ですので心配はありません（写真B参照）。



感染した株の花

病変を示す一部葉化したガク。大きさが不均一。



健全な花（咲き終わりの頃）

全体に薄緑色で、ガクの大きさや厚さは均一。

■アジサイ葉化病を見つけたら

アジサイ葉化病は、ヨコバイなどの昆虫を媒介として、近くにある健全な株に次々と感染していくと考えられています。もし、感染が疑われるアジサイを見かけたら…

- ・他のアジサイへの感染を防ぐために、速やかに感染株と感染の疑われる周囲の株を除去しなければなりません。
- ・鉢植えや、まだ小さな株の場合には株を根ごと掘り出します。地植えで、ある程度大きな株の場合には、まず地上部を刈り込み、葉や新芽に浸透性のアミノ酸系除草剤を塗布し、根まで確実に枯らしたうえで、地上部をすべて刈り取ります。
- ・除去した根や茎は屋外に放置せず、ポリ袋等に封入し確実に処分します。
- ・感染したアジサイに触れた道具類（剪定バサミやノコギリ等）は、アルコールや漂白剤を用いて確実に消毒を行います。

葉化病かどうか判断が難しい場合、または葉化病らしき株を見かけた場合は、相模原市まち・みどり公社までご連絡ください。